4-653-566-**01**(1)

CD-R/RWドライブ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CRX76A

© 2001 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

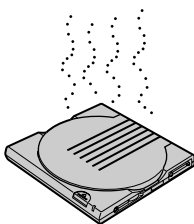
安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

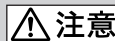
- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ ACアダプターやインターフェースケーブルを抜く

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードが傷んだら、修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。

火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

ACアダプターのプラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。

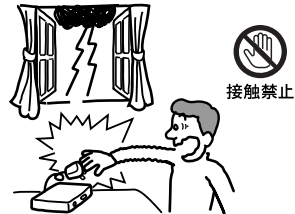
指示

付属のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

たこ足配線をしない

配線器具をたこ足配線して定格をこえた電流が流れると、火災などの原因となります。

禁止

ACアダプターのプラグは根元までコンセントにさしこむ

しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。

指示

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

通電中の本体やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

移動させるときは、ACアダプターを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

注意

長時間使用しないときはACアダプターのプラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

指定のPCカードやインターフェースケーブル以外は使用しない

故障の原因となることがあります。

禁止

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のCD-R/RWドライブです。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Microsoft、MS、MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

□ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウエア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ取扱説明書に従う正常なご使用の場合において、CD-R/RWドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。
□ 本製品のご使用による、パソコン本体や他の機器の不具合、特定のハードウエア・ソフトウエア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウエア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
□ 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。
□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の傷害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

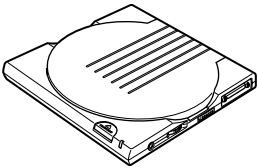
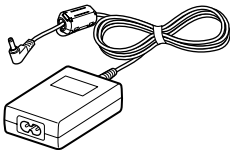
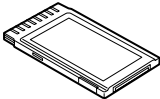
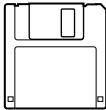
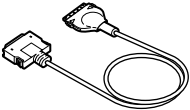
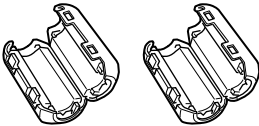
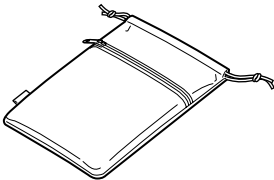
はじめに

CRX76Aには、次の特長があります。

□ CD-Rディスクに最大8倍速で書き込むことができます。
□ CD-RWディスクに最大4倍速で書き込むことができます。
□ CD-ROMディスクを最大24倍速で読むことができます。
□ 持ち運びに便利な小型軽量設計です。
□ 100〜240 Vの電源電圧に対応した小型軽量の専用ACアダプターが付属しています。
□ CardBusモードと16 bitモードに対応したPCカード（PCMCIAタイプⅡ）が付属しています。
□ CardBusモードで使用すれば、最大読み出し速度24倍速（3600 Kバイト/s）の性能をフルに発揮することができます。

必要なシステム構成

CRX76Aは、次の仕様のパソコンで使用できます。

□ CPU：Pentium 133 MHz 以上（200 MHz以上推奨）
□ RAM：32 Mバイト以上
□ ハードディスク空き容量：100 Mバイト以上（1 Gバイト以上推奨）
□ PCカードスロット：PCMCIA TYPEⅡ×1スロット
□ 3.5インチフロッピーディスクドライブ（セットアップに使用）
□ OS：Microsoft Windows 95、Windows 98、Windows 2000 Professional、Windows Me（各日本語版）

ご注意

- CardBusモードで使用する場合は、PCカードスロットがCardBus（32bit）に対応しており、Windows 95 OSR2（Ver4.00.950B）以降、Windows 98、Windows 2000、Windows Meのいずれかがインストールされているパソコンが必要です。詳しくは「セットアップ説明書」をご覧ください。
- 必要なシステム構成は、CD-RやCD-RWディスクへの基本的な書き込み動作を想定した目安です。実際にCRX76Aを使用するには、ここであげたシステム条件を満足し、かつライターソフトウェアで指定された条件を満たす必要があります。（ライターソフトウェアのシステム条件は、通常、ここであげた条件を上回ります。）

付属品一覧

梱包箱から取り出したら、CRX76Aと以下の付属品がそろっているか確認してください。

万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用できるディスク

CRX76Aで使用できるディスクは以下の通りです。

ディスクの種類	マーク	
CD-R	COMPACT disc Recordable	
CD-RW	COMPACT disc ReWritable	
CD-ROM	COMPACT disc	
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	
CD Extra	COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO	CD EXTRA TM
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VIDEO CD
CD TEXT	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD TEXT
CDグラフィックス	COMPACT disc DIGITAL AUDIO GRAPHICS	
フォトCD	COMPACT disc PHOTO	
CD-i	COMPACT disc Interactive	
電子ブック	EBXA Electronic Book	

ご注意

CRX76Aでは円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、CRX76Aの故障の原因となります。

次のページにつづく

CD-RディスクとCD-RWディスクについて

CRX76Aは、CD-Rディスクへの書き込みと、CD-RWディスクへの書き込みができます。
これらディスクへの書き込みには、ライターソフトウェアを使用します。
書き込んだディスクをCRX76A以外の他のCD-ROMドライブなどで再生（データの読み出し）するには、ライターソフトウェアで書き込むときに目的に応じた設定を行います。

CD-Rディスクとは

1度だけデータを書き込めるディスクです。一度書き込まれたデータは消去することができません。CD-Rディスクで音楽CDを作成したものは、一般のCDプレイヤーで再生することができます。

CD-RWディスクとは

データを書き込んだり、消去することができるディスクです。目安として、未使用のCD-RWディスクで約1000回の書き換えができます。

ご注意

CRX76Aは、ハイスピードCD-RWディスクには書き込みを行うことができません。
ハイスピードCD-RWディスクの再生は行うことができます。

ディスクの互換性について

CRX76Aで作成したCD-RディスクやCD-RWディスクは、ほとんどのCD-ROMドライブで再生することができます。ただし、古いタイプのCD-ROMドライブにはCD-RWディスクの再生に対応していない機種があります。また、使用するCD-ROMドライブ、CD-Rディスク、CD-RWディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによっては稀にディスクの再生ができないことがあります。

書き込み速度について

CD-Rディスク、CD-RWディスクへの書き込みは、ディスクに指定されている書き込み対応速度に設定して行ってください。書き込み速度の設定の変更は、ライターソフトウェアで行います。

推奨するディスクについて

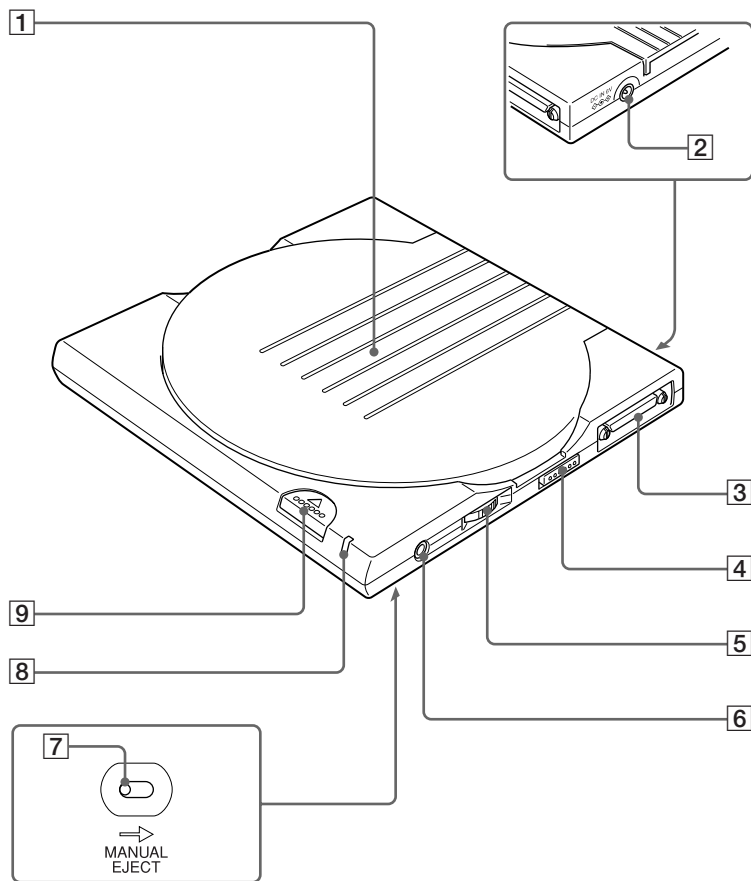
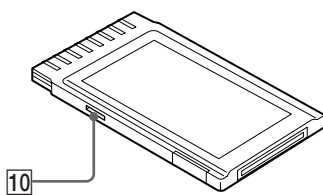
CRX76Aでは、ソニー製記録メディア製品のご使用をお勧めします。詳しくは、弊社ホームページ「SonyDrive」のデータメディア関連ホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/sd/ProductsPark/Models/cat122.html

ご注意

99分ディスクを使用しての書き込みおよび再生に対しては、品質を保証しておりません。

各部の名称と働き

本体

PCカード（ACR-A01）

1 **トップカバー**

2 **電源端子（本体背面）**
付属のACアダプターを接続します。

ご注意

付属のACアダプター以外は絶対に接続しないでください。

3 **インターフェースコネクター**
付属のインターフェースケーブルを接続します。

ご注意

付属のインターフェースケーブル以外は絶対に接続しないでください。

4 **電源スイッチ**
電源を入れたり切ったり（オン/オフ）するスイッチです。

5 **ボリュームつまみ**
ヘッドホンジャックから出力されるアナログオーディオの音量を調節します。

6 **ヘッドホンジャック**
ヘッドホンやアクティブスピーカーを接続して使用します。

7 **マニュアルイジェクトレバー（本体底面）**
電源が入っていないときは、このレバーを矢印方向に押してトップカバーを開きます。

8 **インジケーター**
ドライブの動作状態を示します。電源オンで動作していないときは緑色、動作しているときは橙色に点灯します。

9 **イジェクトボタン**
トップカバーを開くときに押します。

重要

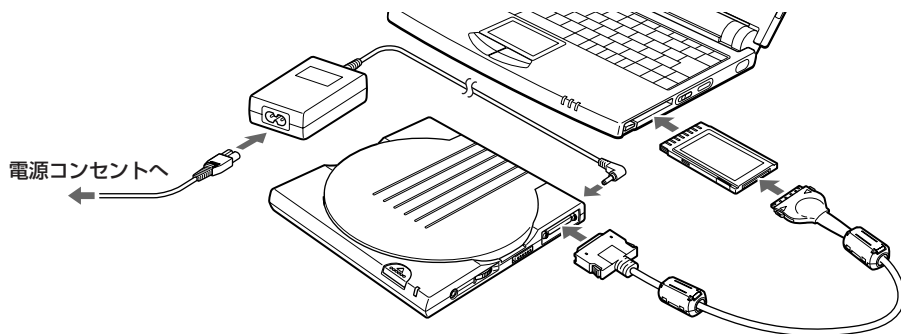
動作中に誤ってトップカバーが開くことを防ぐため、CRX76Aは電動イジェクト機構になっています。このため、電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開きません。また、アプリケーションの状況によっては、イジェクトボタンを押したあと、トップカバーが開くまで1秒以上かかることがあります。
万一、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開かなくなったときは（書き込み中を除く）、本体裏面にあるマニュアルイジェクトレバーを矢印方向に押してトップカバーを開いてください。

10 **モードスイッチ**
PCカードの動作モード（CardBusモード/16 bitモード）を切り替えるスイッチです。
CardBusモードと16 bitモードについては、「セットアップ説明書」を参照してください。

パソコンとの接続

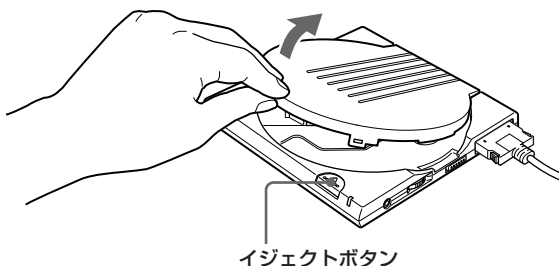
下図のように接続します。

ご注意

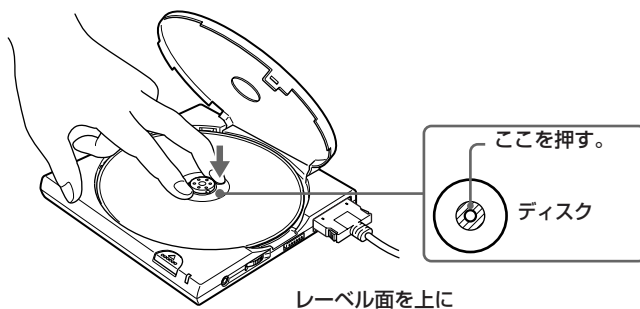
- パソコンとCRX76Aを接続する前に、付属のPCカードとパソコンをセットアップしてください。セットアップの方法と接続の順序については、「セットアップ説明書」を参照してください。
- CRX76Aがパソコンに認識されているときは、CRX76Aの電源を切らないでください。
  パソコンの操作ができなくなることがあります。
- ACアダプター、電源コード、インターフェースケーブル、PCカードは、付属のもの以外は絶対に接続しないでください。

ディスクの出し入れ

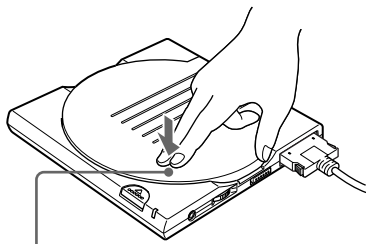
ディスクを入れる

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。

トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

2 ディスクを入れる。

ディスクの中心を、ディスクが固定されるまで押し込みます。カチッと音がするまで、確実に装着してください。このとき、無理な力を加えないでください。また、レンズに触れないように注意してください。

次のページにつづく

3 トップカバーを閉める。

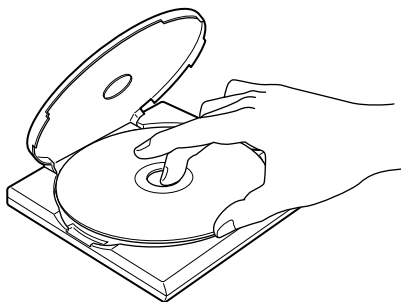
ディスクのデータを使えるようになります。

ここを押してしっかりふたをしめます。

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。

トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

2 ディスクを取り出す。

ディスクの端に指を当て、ドライブ中央の凸起部を押して取り出します。

ご注意

- ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してから、ディスクを取り出してください。
- インジケーターが橙色に点灯しているときは、トップカバーを開けないでください。パソコンの操作ができなくなることがあります。

PCカードを取り外す

付属のPCカードは、Windowsのプラグアンドプレイに対応しており、パソコンの電源を入れたままで、PCカードを抜き差しできます。
ただし、CRX76Aのインジケーターが橙色に点灯しているときとパソコンの起動中（OSがまだ完全に起動していないとき）は、PCカードを取り外さないでください。PCカードの取り外しについては、ご使用のパソコンの取扱説明書も参照してください。
PCカードを取り外す前に、以下の操作が必要です。

1 CD-R/RWドライブを使用しているアプリケーションソフトウェアを終了する。

2 タスクバー右のPCカードのアイコンをクリックする。

：Windows 98、Windows 95のアイコン
：Windows 2000、Windows Meのアイコン
ショートカットメニューが表示されます。

3 ［CBIDE2 DuoATA Cardの中止］をクリックする（Windows 2000またはWindows Meの場合は、「CBIDE2 Series DuoATA Card (CardBus Mode) を停止します」をクリックする）。

「このデバイスは安全に取りはずせます」と表示されます（Windows 2000またはWindows Meの場合は、「CBIDE2 Series DuoATA Card (CardBus Mode) は安全に取り外すことができます」と表示されます）。

参照

使用されているPCカードのドライバーによって、表示されるカードの名称が異なる場合があります。「セットアップ説明書」を参照してください。

4 ［OK］をクリックする。

5 PCカードを取り外す。

故障かな？と思ったら

指定の相談窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店または指定の相談窓口にご相談ください。

CRX76Aのユーザーサポートに関する最新の情報を、インターネットでご案内しています。あわせてご参照ください。

症状	原因／対策
本ドライブがパソコンに認識されない。または正常に動作しない。	→ セットアップが正常に終了していない可能性があります。一度アンインストールを行ったあと、手順に従って再度セットアップを実行してください。 「セットアップ説明書」をご覧ください。 → PCカードのモードスイッチが、ご使用の動作モードに合わせて正しく設定されていない可能性があります。 「セットアップ説明書」をご覧ください。 → ご使用の動作モードに合わせたPCカードドライバーが、正しく設定されていない可能性があります。 「セットアップ説明書」をご覧ください。 → 正しい順序で、PCカードやドライブとパソコンの接続が行われていない可能性があります。 「セットアップ説明書」をご覧ください。 → 正しい順序で、ドライブとパソコンの電源が投入されていない可能性があります。 「セットアップ説明書」をご覧ください。 → PCカードスロットへ電源が供給されていない可能性があります。パソコンのセットアップやパワーセーブ機能の設定を確認してください。また、パソコンのオートパワーダウン機能は働かないように設定してください。 ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

症状	原因／対策
ディスクを入れたのに音とびしたりデータが読めない。	→ ラベル面を上にして、ディスクを入れていない可能性があります。 → 使用できないディスクの可能性があります。 本書の「使用できるディスク」（13ページ）をご覧ください。 → ディスクまたは本ドライブのレンズが汚れている可能性があるのでお手入れをしてください。 → ディスクにキズがある場合がありますので、本ドライブに異常がないことを確かめるために、別ディスクに取り替えてみてください。 → 本ドライブのターンテーブルの上にゴミが付着している場合があります。 → 本ドライブやディスクが結露している場合があります。ディスクを取り出して約1時間放置してください。
ディスクが取り出せない。	→ ドライブの電源がオフの時は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。ドライブの電源を入れるか、マニュアルイジェクトレバーを使用してください。 本書の「各部の名称と働き」（16ページ）をご覧ください。 → 書き込み動作中は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。ご使用のライターソフトウェアの操作方法に従って取り出してください。 付属のライターソフトウェアに同梱されている「ユーザーズガイド」をご覧ください。 → 何らかの原因でパソコンがハングアップしている可能性があります。 ドライブの電源を入れ直し、パソコンを再起動させてください。
CD-R/RWディスクへのデータ書き込み時にデータの書き損じが起こる。	→ 書き込み速度を1倍速に設定している場合、4倍速または8倍速に設定を変更してください。（本ドライブの推奨する書き込み速度は、CD-RWディスク、CD-Rディスクともに4倍速です）書き込み速度の設定変更は、ライターソフトウェアで行います。 → パソコンのスクリーンセーバーが動作しないように設定を切ってください。 → ライターソフトウェア以外のソフトウェアを終了させてください。他のソフトウェアが動作していると、データ転送レートが極端に低くなり、データの書き損じが起こるおそれがあります。 → 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは終了させてください。

次のページにつづく

症状	原因／対策
作成した音楽CDを再生すると、ノイズが聞こえる。（再生音にノイズが混入している）	→ PCカードを16 bitモードでご使用の場合、パソコンによってはノイズが混入されて記録されることがあります。CardBusモードに設定し直してください。「セットアップ説明書」をご覧ください。 → ライターソフトウェアの設定を変更すると、問題が解決する場合があります。ライターソフトウェアの操作については、付属のライターソフトウェアに同梱されているマニュアルをご覧ください。 → パソコンの機種によっては、ノイズが発生する場合があります。別のパソコンを使用して音楽CDを作成すると、ノイズのないCDが作成できることがあります。
CRX76Aを使ったあとに、その前に使っていたPCカードが動作しなくなった。	→ 動作しなくなったPCカードを挿入し、パソコンを再起動してください。または、CRX76Aに付属のPCカードを挿入したまま、パソコンを起動しないようにしてください。付属のPCカードを挿入したままパソコンを起動すると、その前に使っていたPCカードのリソースとコンフリクトが生じ、問題が生じる場合があります。
パソコン起動時に障害が出たり、ライターソフトウェアが正常に動作しない。	→ すでに「CDRFS」などのパケットライト方式のライターソフトウェアがインストールされているパソコンに、CRX76Aに付属のライターソフトウェアをインストールすると、正常に動作しない場合があります。「CDRFS」など、他のパケットライト方式のライターソフトウェアはあらかじめアンインストールしてください。パソコンによっては「CDRFS」がプリインストールされている場合もありますので、ご確認ください。
PCカードスロットが2つ搭載されているパソコンに、CRX76Aドライブを2台接続（PCカードを2枚接続）したら、Windowsが落ち再起動してしまう。	→ パソコンがCardBusモードをサポートしている場合は、PCカードは2枚ともCardBusモードに設定してご使用ください。パソコンによっては、PCカードを16 bitモードで使用すると上記のような症状が出ることがあります。ただし、16 bitモード、CardBusモードに限らず、CRX76Aドライブを2台同時接続したときの動作は保証しておりません。
CardBusモードでの使用時、パソコンがサスペンド状態から復帰したあと、CRX76Aドライブのアイコンが消えて認識されなくなる。	→ 一部のノートパソコンで、このような現象が発生することがあります。PCカードを一度抜いて、パソコンの電源が入った状態で挿入し直してください。

症状	原因／対策
付属以外のライターソフトウェアをインストールしたが、動作しない。	→ ご使用のライターソフトウェアがCRX76Aに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。 → ライターソフトウェアのバージョンの違いにより、CRX76Aに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。また、ソフトウェアバージョンのアップグレードサービスやダウンロードサービスを利用し、CRX76Aに対応できることがあります。
いままで正常に使用できていたが、ある時期から動作が不安定になった。	→ 何らかのアプリケーションをインストールしたあとに動作が不安定になった場合は、そのアプリケーションを一度アンインストールしてください。それで症状が回復した場合は、そのアプリケーションの使用やインストールを控えてください。
システムリカバリを行なったあと、CRX76Aが使用できない。	→ システムリカバリを行なったあとでCRX76Aを使用するには、CRX76A付属のセットアップディスクを使って、パソコンにPCカードドライバーを再度インストールする必要があります。 「セットアップ説明書」をご覧ください。 → PCカードのモードスイッチは、システムリカバリで16bitモードに設定されています。CardBusモードでCRX76Aを使用する場合は、PCカードのモードスイッチをCardBusモードに設定し直してください。

使用上のご注意

特に注意していただきたい事

- **動作中に本機を、絶対に移動したり持ち上げたりしないでください。特に書き込み動作中に振動や衝撃を絶対に与えないでください。書き込み途中にエラーを発生させ、そのCD-R/RWディスクが使用不能になる場合があります。**
- **付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。**
- インターフェースケーブルのコネクター付近を、強く折り曲げたりしないでください。断線や接触不良の原因になります。

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

操作について

本機は水平な場所に置いて使用してください。

輸送について

- 梱包箱は大切に保管してください。輸送の際に必要になります。
- 本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

PCカードについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクター部に直接手を触れないように注意してください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないように注意してください。
- カードをパソコンから取り外すときは、必ずパソコンのPCカードスロットの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くとPCカードやパソコンの故障の原因になります。
- カードをパソコンに取り付けたままの状態でインターフェースケーブルの抜き差しはしないでください。
- カードを水で濡らさないでください。
- PCカードのソフトケースは、プラスチック製品の上に長時間放置しないでください。跡が残る場合があります。

結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して1時間以上待ち、それから電源を切ってください。

レンズについて

本機のレンズ（ふたの内側）には触れたり、直視しないでください。また、ほこりがつかないようにディスクの出し入れのとき以外はふたを閉じておいてください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。

- ディスクに文字を書いたり、紙などを貼ったりしないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で空拭きします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

レンズの汚れは

レンズが汚れて本機が正常に動作しなくなったときは、お買い上げ店やサービス窓口にご相談ください。

ディスクの汚れは

柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
汚れがひどいときは柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めますので使わないでください。

CD-R、CD-RWディスクの汚れは

- CD-Rディスクや、CD-RWディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- CD-Rディスクや、CD-RWディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは指定相談窓口へご連絡ください

指定相談窓口については、本書の「製品サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

取扱説明書と保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCD-R/RWドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

修理のご依頼について

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、およびPCカード、インターフェースケーブル、ACアダプターなどの付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の 理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取り外し、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。
- 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。

主な仕様

速度

書き込み速度（CD-R）

2倍速、4倍速、8倍速

書き込み速度（CD-RW）

2倍速、4倍速

読み出し速度

最大24倍速

ディスク

使用可能なディスク

CD-ROM
CD-ROM XA
Photo CD
（マルチセッション対応）
CD-DA
CD-RW
CD-R
CD-I
ビデオCD
CD Extra (CD+)
CD TEXT
CD Bridge
オーディオコンバインドCD-ROM

ディスク径　12 cm
　　　　　　8 cm（読み出しのみ）

書き込み方式

トラックアットワンス
ディスクアットワンス
セッションアットワンス
パケットライト

ドライブ

データ転送レート

最大　:3600 Kバイト/s（24倍速[1]）

アクセス時間

平均（ランダムストローク）：160 ms

[1] 最大データ転送レートは、パソコンの性能によって異なります。

環境条件／保存環境

動作温度

5 ℃～35 ℃

動作湿度

20 %RH～80 %RH（結露なきこと）

保存環境

温度－20 ℃～50 ℃　湿度20 %RH～90 %RH（結露なきこと）

電源・その他

電源

外部電源ジャック　定格5 V

ACアダプター（付属）を接続してAC100-240 V電源から使用可能。

消費電力

約5.5 W

大きさ

約129×15×134 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約200 g（本体のみ）

インターフェース

ドライブインターフェース

ATAPI準拠

バッファ容量

8 Mバイト

PCカード

ACR-01

（アイ・オー・データ製 CBIDE2製品）

インターフェースPCMCIA 2.1/JEIDA 4.2準拠

カードタイプ　　PCMCIAタイプⅡ

インターフェースカード外形寸法

54×5×85.6 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量　　約30 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品サポートのご案内

CRX76Aの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウエアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- **ユーザーサポートホームページ**
  http://www.sony.co.jp/CRX76A
- **故障かな？と思ったら**
  本書22ページ
- **ライターソフトウェアについて**
  付属のライターソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。

それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- **型名**：CRX76A
- **製造番号**
- **製品の購入年月日・ご購入店名**
- **ご使用のパソコンメーカー・型番**
- **パソコンの仕様（CPU速度、メモリー容量など）**
- **ご使用のライターソフトウエア**
- **不具合時の状態：できるだけ詳しく**
- **製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など**

ソニーストレージテクニカルレスポンスセンター
TEL 03-5350-1460
受付時間
月～金
10:00～12:00
13:00～17:00

CRX76Aの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージ テクニカルレスポンスセンター
TEL: 03-5350-1460 受付時間 **月〜金** **10:00から12:00** および **13:00から17:00**

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Malaysia